

第1回小中一貫合同研修会を開催

重点テーマ

「一人一人の学びをしっかりと支え、 誰一人取り残すことのない教育の実践」

いよいよ来年度より本格実施されます「長沼町小中一貫教育」にむけて、小中学校教職員が様々な検討事項を話し合い、「一人一人の学びを支え、誰一人取り残すことのない教育の実践」を重点テーマに、長沼町児童生徒が生き生きと活動する学校づくりを推進いたします。

4月15日（木）、長沼中学校におきまして、町内小中学校の教職員が一堂に会し「第1回小中一貫合同研修会」を開催いたしました。

全体研修会では、長沼町に先んじて平成30年度より小中一貫教育を導入されている、北広島市の北広島市教育部教育施策推進課長の富田英禎様にお越しいただき、小中一貫教育

の具体的なメリットやご苦労されていること、今後の目標などを、ご講演いただきました。

その後は小中全教職員が「教科専門部会」「特別部会」を行いました。

「教科専門部会」では、「国語」や「算数」などの教科や「特別支援」「事務部」など13の部会に別れ、それぞれ9年間を見通した小中の教育課程の在り方についての協議を行いました。今年度一年間を通して、「教科専門部会」において小中一貫した教育課程の系統表を作成する計画です。

「特別部会」は、「学力向上」「生徒指導」など6つの課題別の部会を設定し、これから小中で連携して取り組む教育活動等や、互いの現状等について情報交換などを行いました。



教科専門部会の協議の様子

昨年度よりすでに小中一貫で取り組んでいる活動もあり、「家庭学習充実週間」や「中学校の先生による小学校への乗り入れ授業」を実際に行ってきたところです。

課題はまだありますが、小中教職員が力を合わせて小中一貫教育の実施に向けて、取り組んで参ります。地域・保護者の皆様にも、ご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



富田英禎氏による講演の様子

中学校の先生が、小学校で授業をしています



中学校の数学の先生による6年生での
乗り入れ授業の様子

小中一貫サポート事業の一貫として、昨年度より継続し、中学校の先生による小学校での乗り入れ授業を行っています。

中学校の数学の先生が、小学6年生の算数の授業を受け持ち、指導しています。子どもたちからも「とてもわかりやすい授業で算数が楽しい」「中学校に上がったときに、また会えるので安心できる」などの声も聞かれます。

写真の授業は、中学校の数学教師山本嘉美先生による、一人一台端末iPadの学習用アプリ「スクールタクト」を活用しての「対称」の授業風景です。

今後は、小学校の体力テストで、中学校体育科の先生が指導・補助したり、小学校の先生が中学校の授業の補助を行うなどの乗り入れ授業を計画中です。